

1

「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指し  
田原市総合計画の『第7期実施計画』を策定

Garden City With Full of Charm and Vitality

実施計画

とは、総合計画の方針に沿って各分野の施策を推進するため、中期財政計画を作成し、向こう3年間で実施する主な事業を整理したものです。財政状況や事業の進捗に伴い、毎年度、計画を見直しています。

なお、第7期実施計画（平成25年度～27年度）では、今年度、改定した総合計画における施策の体系に基づき編成しています。

計画の概要

●都市経営方針

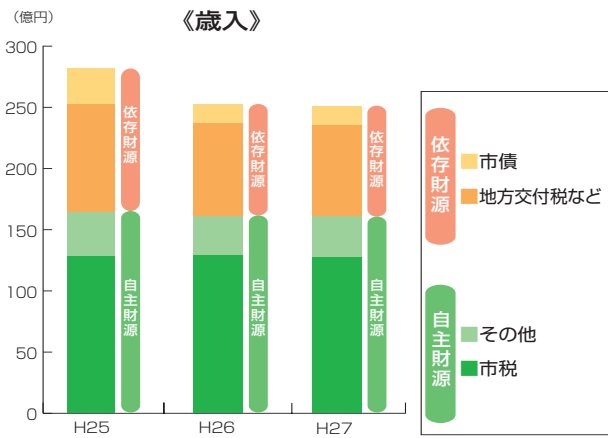
総合計画で基本指標として位置づけた市民幸福度指標の継続的な調査・検討を通じ、施策への市民感覚や視点の反映を図るとともに、事業の緊急度や進捗などを踏まえ、集中投資による早期の事業効果の発揮を目指します。

●中期財政計画

第7期実施計画の期間内に実施する事業を決定する際に基礎となる、3カ年の一般会計歳入歳出および主要財

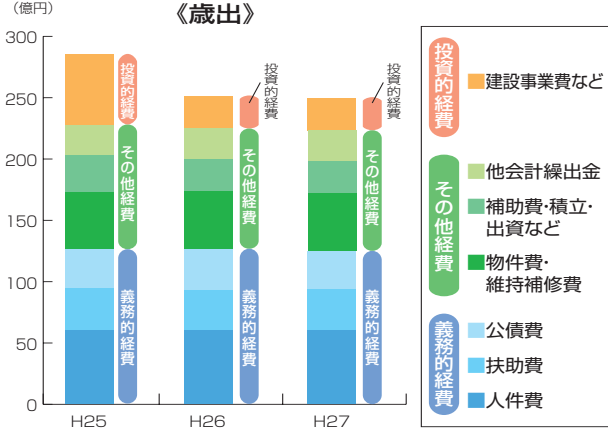
政指標の見込みです。

【歳入】 自主財源のおよそ8割を占める市税は、概ね130億円台で推移する見込みです。平成25年度は大型事業（新給食センター建設や三河田原駅周辺の整備など）による市債などの増加により一時的に拡大しますが、その後は市債などが減少するため全体の予算規模としては250億円程度まで縮減する見込みです。



【歳出】 人件費は縮小、扶助費は拡大、公債費は年度により増減しますが、義務的経費全体としては減少する見込みです。また、投資的経費は、平成25年度は大型事業により拡大しますが、その後は30億円程度での推移が予測されます。

※計画の詳しい内容は市ホームページにて  
http://www.city.tahara.aichi.jp/  
▼政策推進課 ☎23局3507



◆主要財政指標の推移予測

財政指標見込	H24	H25	H26	H27
財政調整基金残高	51億円	41億円	39億円	37億円
地方債残高（一般会計／合併特例債含む）	256億円	259億円	239億円	222億円
公債費比率（単年度）	9.0%	8.6%	9.7%	8.2%
自主財源比率	63%	58%	62%	62%
財政力指数（単年度）	0.96	0.96	0.95	0.95

主要財政指標の用語解説

- 【財政調整基金】 予期せぬ収入減や支出増加など、年度間の不均衡を調整するための積立金
- 【地方債】 地方公共団体が発行する公債
- 【公債費比率】 財政の弾力性を示す指標。10%を超えないことが望ましいとされている。
- 【自主財源比率】 歳入全体に対する、税などの自主財源が占める割合
- 【財政力指数】 財政基盤の強弱を示し、需要に対し収入が多い場合1.0を超える。